

第3回英語論文執筆セミナー開催報告

日時：2019年11月27日（水）14:45～16:15

場所：早稲田大学戸山キャンパス 33号館 16階第10会議室

講師：ライアン・スティーブン(RYAN Stephen)先生（文学学院教授）

総合人文科学研究センター（人文研）では、キャリア初期研究者支援の一環として、2018年度より英語論文執筆セミナーを実施している。具体的には、『WASEDA RILAS JOURNAL』をはじめとする人文系学術雑誌への英語論文の投稿を想定してキャリア初期研究者への有益な情報の提供を目的とする。今回は第3回目となる。



写真1 伊川教授より挨拶

ライアン・スティーブン先生は、人文研研究誌『WASEDA RILAS JOURNAL』の投稿時期・方法を紹介したうえで、英語論文執筆について“Levels of organization”、“Draft”、



写真2 セミナーの様子

“Becoming a writer”、“Review”、“Citations”などから、具体的にアドバイスを参加者に送った。とくに、先生は1本の投稿論文を15回にわたって修正を繰り返していたという先生ご自身の経験を通して、“Redrafting”の意味を強調した。今回のセミナーは2020年『WASEDA RILAS JOURNAL』論文執筆募集の前に行われており、タイミングには非常によいものだと参加者から評価された。また、セミナー終了時に実施したアンケートでは、参加者からおおむね好意的かつ有益なコメントが寄せられ、キャリア初期研究者のニーズに合った情報を提供していくための貴重なヒントを得ることができた。

“Levels of organization”、“Draft”、“Becoming a writer”、“Review”、“Citations”などから、具体的にアドバイスを参加者に送った。とくに、先生は1本の投稿論文を15回にわたって修正を繰り返していたという先生ご自身の経験を通して、“Redrafting”の意味を強調した。今回のセミナーは2020年『WASEDA RILAS JOURNAL』論文執筆募集の前に行われており、タイミングには非常によい

（記録：張龍龍）